

# あけぼの桜

初代同窓会会長 藤田啓介博士筆

## 藤田学園同窓会

住 所 豊明市沓掛町田楽ヶ窪  
1番地98

発行人 藤田学園同窓会

発行日 令和2年12月25日



4月：岡崎医療センターと開院式(テープカット)

## 目 次



P. 2	藤田学園同窓会会長ご挨拶	P. 12	3月：ダイヤモンド・プリンセス号
P. 3	学校法人藤田学園理事長ご挨拶	P. 13	4月：七栗訪問事業部開所
P. 4	藤田医科大学学長ご挨拶	P. 14	5月：コロナ支援の輪
P. 5	藤田医科大学看護専門学校長ご挨拶	P. 15	6月：大学ランキング、医学部病院長会議会長に湯澤院長
P. 6	学園の1年	P. 16	7月：第4病院ヘビアノ寄贈
	9月：ギネス記録、岡崎医療センター	P. 17	8月：on line Campus
P. 7	10月：大日如来宝冠安置式、第1病院ヘビアノ寄贈	P. 18	藤田の心を引き継ぐ
P. 8	11月：看専のHCDと2019年HCDを開催して	P. 19	恩師からのお便り、国家試験結果
P. 9	12月：ASEANの視察、院内ラジオ開局	P. 20	卒業生の活躍
P. 10	1月：大学病院ガンセンター	P. 21～23	同窓会からのお知らせと総会報告
P. 11	2月：第2病院堀口院長就任、未来遺産	P. 24	2021年度入学試験スケジュール



一般社団法人  
藤田学園同窓会  
会長  
**松山 裕宇**  
(医学部6回生)

## 伝承される「藤田の心」

卒業生の皆様におかれましては、刻々と変化する新型コロナ感染の予防対策に追われる日々をお過ごしのことと拝察申し上げます。

今年一年を振り返りますと、藤田医科大学では、岡崎医療センターにおけるクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」号の乗客乗員の受け入れに始まり、感染患者の懸命な治療、院内感染防止対策、有効な診断法や治療薬の開発など、藤田医科大学病院、ばんたね病院、七栗記念病院、岡崎医療センターが一体となり多方面に渡り国際社会に貢献する努力が認められた年でした。

一医療従事者、一開業医である私自身も、患者様や地域医療、共に働くスタッフ、共に生きる家族をどのように守るべきか、医療の分岐点ともいえる新型コロナウイルス感染症から何を学び、社会からは何が求められているのか、将来に向けての長期的展望を考える必要性に迫られた一年でした。

さて、2020年は藤田学園同窓会としても活動の転換期になりました。藤田学園同窓会は、1980年10月10日に藤田啓介氏が初代会長に就任し、発足いたしました。そして

1995.6.11、藤田啓介会長の突然のご逝去の後、第2代：沖田洋治氏(藤田学園医学技術専門学院5回生)、第3代：近松均氏(医学部2回生)、そして現在、第4代：松山(医学部6回生、2015.10.17～)が務めさせて頂いております。沖田洋治名誉会長におかれましては、今年の4月16日にご逝去されました。この場をお借りして、心よりご冥福をお祈りします。

同窓会行事としては、1964年10月10日に学校法人藤田学園が設立されて以降、1980年10月10日：藤田学園同窓会設立、2007年10月27日：獨創一理祈念館と同窓会館完成、2017年3月21日：七栗キャンパスに藤田啓介総長祈念碑建立、2019年3月21日：総長藤田啓介七栗祈念室開所、2019年10月8日：創立者藤田啓介氏奉安 宝冠大日如来及び華鬘 再安置、などの行事を執り行いました。同窓会行事とは異なりますが、今年11月には、藤田学園の医療の礎となってきた第一教育病院旧棟が遂に解体され、アセンブリータワーも取り外されました。

こうした行事の流れに目を向けましても、同窓会として今までの藤田の歴史を守る活動に一区切り付き、未来を見据えた活動に舵を切る年になったことがわかります。

藤田医科大学では、新型コロナウイルス感染症対策募金を始めました。医療の岐路に立つ私たちは、この新しい感染症のみならず、これから医療に長期的に立ち向かう体力をつけていかなければなりません。今こそ、私共卒業生が全力でお互いに協力していく時であります。

今回の募金は、個人申し込みの場合、インターネットか

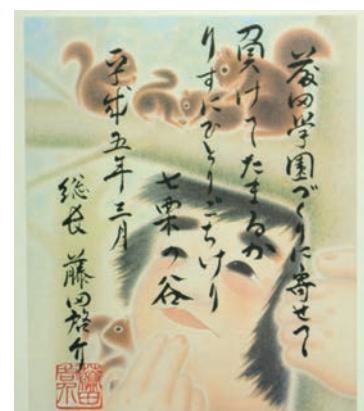
ら申し込みが可能です。支払い方法はクレジットカード、インターネットバンキングなども利用できます。寄付金の額が2,000円を超える場合、税制優遇措置が受けられます。法人の場合も法人税法上、支出した寄付金の全額を損金の額に算入することが認められています。お申し込みは、藤田医科大学のホームページからアクセス可能となっておりますので、一人でも多くの皆様に募金のお力添えを頂きますよう、心よりお願い申し上げます。

また、今年度のホームカミングデーは、諸事情を鑑み、ホテルでの集合開催形式を取りやめ、大学の歴史を紐解き、近況を報告するビデオ配信の形を取らせて頂きました。たくさんのアクセスを頂きました。ありがとうございました。「我ら弱き人々への無限の同情心もて 片時も自己に驕ることなく医を行わん」「少しくらい寒くてもじっと我慢を 少しくらい幸せでもそっと祈る心で」「負けてたまるか リスにひとりごちけり 七栗の谷」

藤田の心を後輩に伝え続けることが同窓会の最大の責務であることを決して忘れず活動して参ります。

末筆ながら、皆様のご活躍とご多幸を心よりお祈りいたします。

令和2年11月吉日





学校法人藤田学園  
理事長

星長 清隆

All Fujita の精神で

藤田学園同窓会の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。

皆様におかれましては、全国各地、様々な分野でご活躍のことと存じます。

2018年10月に藤田学園理事長を拝命以来、2年が経過しましたが、今年は年初より全世界を巻き込む非常事態が起こり、本学も2月より国からの要請を受けて新しいウイルスへの対策に全身全霊で取り組んでおります。

2019年12月中国武漢市で発生した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、瞬く間に全世界へ拡がり、10月1日現在、全世界では3,376万人が感染し、100万人以上の死者を出しております。感染拡大が最も深刻な米国における感染者数は719万人超、死者数は20万人超で、次いでインド(感染者622万人超、死者9万人超)、ブラジル(感染者477万人超、死者14万人超)と続いております。わが国では本年1月に武漢より帰国された方が初例となり、現在までの9か月間で総感染者数は84,397名、死者数は1,588名ですが、欧米などの諸外国と比べると圧倒的に少ない患者数といえます。

本学がこの非常事態へ本格的に関与し始めたのは、2月16日(日)朝、厚生労働省幹部より直接お電話を頂いたことが契機となりました。その際、本年4月に開院を控えていた岡崎医療センターへ横浜港に停泊中のクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」のCOVID-19

に罹患した乗客を受け入れて欲しいとの要請がございました。停泊してから2週間が経過しており、また日ごとに感染者数が増加していた経緯もあり、早急な対応を求められました。直ちに学園幹部に相談したところ、

全員が前向きな意思表示をされ、翌朝8時半の会議にて正式に受け入れを決定いたしました。内外関係者と調整の末、18日(火)夜より受け入れ予定としておりましたが、実際に第1陣が到着したのは19日(水)午前2時でした。最終的には、計128名の乗客乗員を5回に分けて受け入れました。

このような不測の事態へタイムリーな対応を求められる中でも、藤田の職員のチームワークと手際のよい仕事ぶりに派遣された厚生労働省職員は感動し、すこぶる高く評価ください、当時の加藤厚生労働大臣(現官房長官)からも私の携帯に感謝の電話が入りました。また、提供した食事も好評で、入所者の方がメールで送った夕食の画像がカナダのテレビで放映されたとも聞いております。



ダイヤモンド・プリンセス号乗客乗員の受け入れ  
(岡崎医療センター)

現在も、本院、ばんたぬ病院、岡崎医療センターではCOVID-19患者の入院加療をしておりますが、誇るべきは300名以上の患者さんを受け入れながら、一人も院内感染を起こしていない事で、藤田の医療者の質の高さを顯示しております。ただ一つ残念なことは、本年6月に開催する予定であった、本学主催の「THE Asia Universities Summit 2020」が、来年6月1日へ延期となった事でございます。

このように藤田が著しい発展を遂げることができたのは、All Fujita の精神で頑張っておられる皆様のたゆまぬ努力の賜物だと感謝しております。一日も早いCOVID-19の沈静化を祈るとともに、皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。



陣頭指揮を執る守瀬病院長(岡崎医療センター)



藤田医科大学  
学長  
才藤 栄一

## 来年も続く藤田医科大学 の輝かしい活躍

2020年も残り僅かとなりました。卒業生の皆さん、関係各位におかれましては、本年も藤田医科大学に多大なご助力を賜りましたこと、この場を借りて深く感謝いたします。

本年のCOVID-19の世界流行は、これまで体験したことのない異例な社会状況を生み出し、そして、それは続いています。東京オリンピックは延期となり、来年開催についても疑問符が外せない事態です。藤田医科大学が今年主催



岡崎医疗センターでの受け入れ

予定であった日本初のTHE Asia Universities Summitも来年へと延期いたしました。

今年2月中旬、COVID-19流行に伴い、政府から要請を受け、私たちは、クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」号の乗員乗客のうちコロナ陽性者とその同行者、計128名を開院前の岡崎医療センターに受け入れました。そして、1人の施設内感染者を出すことなく任務を完了しました。同センターはこの受け入れによって1週間、開院が遅れましたが、私たちは日本社会に貢献できたことを大変誇りに思っています。研究面では、5月に藤田COVID-19研究センターを新設し、ファビピラビル(アビガン)の観察研究と特定臨床研究など、多数の課題を現在も取り扱っています。また、社会の要望に応えて全自動核酸抽出装置などを増設し、11月、オートメーションのPCR検査体制を完成させました。

教育では、キャンパス入構制限に対応して、ICTを利用したオンライン授業に移行し、大きな混乱



PCR検査

もなくスムーズに遠隔講義を進めることができました。私もオンライン授業をいくつか聴講しましたが、これはこれでなかなか意味深い授業でした。授業運営にはいくつかの課題もありますが、教職員一丸となって体制整備にあたっています。オンライン授業は私たちに新たな可能性も与えてくれました。今まで、時間的、物理的に困難であった他大学との単位互換が可能になります。この秋から、本学が来年度より提供予定の単位互換講義、医学通論「プラタナス」の試験配信を行っています。

今、キャンパスは、大学病院A棟・B棟の新棟建設完了に伴って旧1号棟・2号棟解体が進み、来年度には美しい芝生広場の整備が始まります。また、来年6月には、日本で初となる大学サミットTHE Asia Universities Summit 2021を主催します。

来年も続く藤田医科大学の輝かしい活躍を楽しみに期待してください。

それでは、皆さん、よいお年をお迎えください。



遠隔授業の様子



豊明キャンパスの未来図



藤田医科大学  
看護専門学校  
校長

小野 雄一郎

## 看護専門学校の近況

ます。本校の教育の伝統の成果は、2015年以降6年間の国家試験合格率100%達成や、本学の病院への就職率の高さ等にも表れております。

本年はコロナ感染症の流行により本校の教育も多大な影響を受け、3年生の実習も5月開始の予定が6月中旬まで遅れ、夏休み期間も含めて実習を行う状況となりました。一方、感染防止には積極的に取り組み、県内看護専門学校の中で先陣を切ってのWeb授業開始をはじめとする諸対策を進めています。

10月16日には戴帽式をフジタホール2000において挙行しました。当日、パッヘルベル、バッハなど、バロックの名曲がホール全体に響く中、20回生の戴帽・戴灯の儀が無事行われました。そして、コロナ対策としての収録音ではありますが、「誓いの言葉」が若々しく力強い音声で聴衆に伝えられました。また、金田副学長と

眞野副院長から温かいご祝辞を頂き、さらには本学各病院看護部からお祝いの花束を頂きました。

本校は2022年3月の閉校を予定しておりますので、現在、①記念誌の編集、②閉校式の準備、③本校の歴史資料の整理保存、④閉校後の事務的対応体制確立や備品移管などを進めています。特に、本校の歴史資料は、開校から半世紀余を経て残存資料が少ない模様です。同窓会や学園関係者のご協力を仰ぎつつ保存に努めたいと考えております。

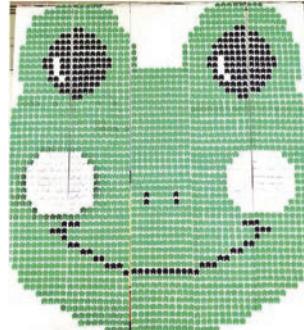
今後もコロナ感染症は予断を許さない状況にありますが、在学中の3年生(19回生)と2年生(20回生)が平時に比べて遜色のない実力を付けて卒業できますように教職員とともに努力したいと考えております。

同窓会の皆様には、今後もご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。



第20回生戴帽式

## 子ども病棟の子どもたちが ギネス世界記録達成！



NPO法人日本ホスピタル・クラウン協会主催のギネス挑戦企画“ベッドの上でも世界一「僕は世界一に挑戦します！」～折り紙で作ったカエルの最多展示数～”に、第1・2教育病院に入院中の子どもたちが参加し、見事、ギネス世界記録を達成しました。

企画には、全国20の病院に入院している子どもたちが協力。そのなかでも第1・2教育病院は、最多となる計1,565個のカエルを提供しました。それらを集めて巨大なモザイク絵を完成させるというもので、折ったカエルの総数3,542個が記録となりました。

第1教育病院では、ホスピタル・クラウンの訪問に合わせて折り紙の時間を作ったり、治療の合間に病室で折ったりと熱心に取り組み、「いっぱいできた！」とたくさんの笑顔を見せてくれました。また、参加者のご家族からは「病院でこういうことに参加できるとは思わなかった。なかなか経験できないことなので嬉しい」という言葉をいただきました。

高さ5m、左右4.6mという大きなモザイク絵一面に敷き詰められた折り紙のカエル。その一つひとつに子どもたちの「無事家にカエル」「ケロッと病気が治る」という思いと頑張りが込められています。

## 岡崎医療センター内装工事開始

岡崎医療センターの開院まで6ヵ月に迫りました。現在、内装工事が着々と進んでおり、今後は2020年1月末の引き渡しに向け、外構工事に着手していく予定です。この間の内装工事によって1Fのエントランスホール・光庭(ひかりにわ)とその周辺が、やわらかな陽光が差し込む空間として出来上がりつつあります。



エントランスホール「光庭」完成予想図



完成間近のエントランスホール「光庭」

2019年  
10月

## 宝冠大日如来および華鬘 再招来安置式

学園の守り神として病院南玄関に安置されていた宝冠大日如来および華鬘(吊り仏具)が病院1・2号館の取り壊しに伴い、獨創一理祈念館に移設され、再招来安置式(魂入れ法要)が営まれました。

宝冠大日如来と華鬘は、開学25周年の折、衆生済度と学園の発展を願い寄進されました。宝冠大日如来は、国内最上の宝冠とされる東大寺法華堂(三月堂)の本尊・不空絹索觀音立像の宝冠を模したもので、中央に高さ10 cmの大日如来像が配されています。また華鬘は、脳断面図の各部位を透かし彫りにした本学ならでは獨創的な意匠が特徴です。いずれも総長生誕日(3月21日)、総長顕彰の日(6月11日)、開学記念日(10月10日)の年3回、獨創一理祈念館で御開帳されます。



宝冠が納められた厨子と華鬘



宝冠大日如来



再招来安置式(魂入れ法要)

## 同窓会より第1教育病院へグランドピアノの寄贈

病院B棟1階ホスピタルパサージュに設置されていたアップライトピアノが老朽化したため、藤田学園同窓会より自動演奏付グランドピアノをご寄贈いただきました。

ホスピタルパサージュでは、1年を通して各種コンサートやイベントが行われています。同窓会はグランドピアノの寄贈について「より上質な音で患者さんに安らぎと笑顔を届けていただきたい」と話し、活用に期待を寄せています。

自動演奏付グランドピアノ



教育病院B棟ホスピタルパサージュ

2019年  
11月

## 看護専門学校 ホームカミングデー開催

2019年11月16日、看護専門学校「第4回ホームカミングデー」を開催しました。当日は卒業生や教職員など約90名が参加し、今までにないほどの盛大な盛り上がりでした。卒業生と軽食や飲み物を囲んで、母校の思い出を語り、友人や教員との旧交を温めていただく機会となりました。また企画として、マジックショーやゲームで卒業生やその子ども達も楽しんでいただきました。

ホームカミングデーの交流を通して、教員と卒業生だけでなく、卒業生同士のネットワークが広がり、助け合い、刺激し合い、今後の仕事や活動につながることを期待しています。



2019年看護専門学校ホームカミングデー

## 2019年 ホームカミングデーを開催して

2019年10月26日に4回目となる藤田学園ホームカミングデーを開催いたしました。33名の来賓と300名を超える卒業生とその同伴者が参加し、華やかでそして懐かしい同窓会が繰り広げられました。

今回は南愛知准看護学校3回生と名古屋衛生技術短期大学2回生、そして名古屋医学技術専門学院1回生（3月卒）と2回生（9月卒）が卒後50年を迎える、22名の方が50年の社会貢献を讃える表彰を受けられました。年々、卒後50年、40年とその功績を称える表彰を受けられる方々が増えていくことは、学園と同窓会の発展と充実を実感でき、大変に喜ばしいことです。

このホームカミングデー開催が、同級生やクラブの先輩・後輩の懇親会の呼び水となることを、そして今まで以上に卒業生が一丸となって在学生と学園を応援できる起点になることを願っております。



卒後50周年記念の表彰を受けた第3名と星長理事長

2019年  
12月

## 本学をASEANの行政官らが視察

愛知県で開催された「第17回 ASEAN 日本社会保障ハイレベル会合」(厚生労働省主催／12月4～6日)のプログラムの一環として、12月5日にASEAN10カ国に中国・韓国を加えた計12カ国との社会福祉・保健・雇用政策行政官と、WHO(世界保健機関)、ILO(国際労働機関)、JICA(国際協力機構)の各担当者ら総勢約60人が本学を視察しました。

2グループに分かれて、国内最大級のリハビリテーションセンターやロボティックスマートホーム・活動支援機器研究実証センター(RSH)、地域包括ケア中核センターの取り組みを視察しました。



本学の取り組みを説明する星長清隆理事長



英語であいさつするトヨちゃんに視察者の顔もほころんで



とろみ付き飲料の自動販売機を熱心に見る視察者たち

## 院内ラジオ「フジタイム」のスタート

入院患者さんへの癒しの提供と新しい医療文化の創造をめざし、院内ラジオ「フジタイム」の放送が12月18日スタートしました。湯澤由紀夫病院長が「医療スタッフと患者さんをつなぐツールにしたい」とあいさつし、放送開始のボタンを押しました。

早速、患者さんからは「病院長の話が聞けて良かった」「院内コンサートを聴きに行くことができないので、病室でも聴けるのは嬉しい」などの声をいただきました。



オンエア中の「フジタイム」

# 大学病院「がんセンター」新設

2020年1月1日、がん治療に特化した「がんセンター」が大学病院に新設されました。同センターには、大学の研究支援推進本部に設けられている「がん医療研究センター」とのパイプ役を担うトランスレーショナルリサーチ部門(TR部門)や先端医療部門など7つの専門部門を設置。診療科や臓器の垣根を越えた横断的かつ統合的ながん治療を行い、大学病院の隙のない診療体制を存分に生かして各部門が連携し、体制の構築や革新的な診断・治療法の開発をめざします。

## がんセンターの取り組み

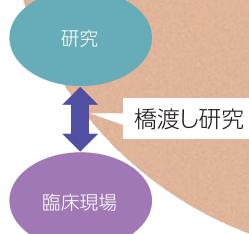
大学病院内がんセンターと既存のがん医療研究センターとの差別化を意識した診療体制構築

病院長直下の組織として、がんの臨床治療に特化します。



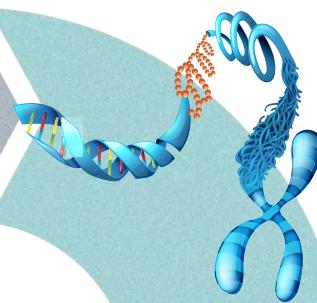
臨床を意識した研究体制の強化および実現

TR部門を設け、基礎研究の優れた成果を次世代の革新的な診断・治療の開発につなげることを目的とし、研究から臨床現場への「橋渡し研究」を行います。



ゲノム診療時代の今後を見据えた検査体制の構築

がんゲノム医療連携病院として、質の高いゲノム診断を実施します。



## がんセンター

診療科間、臓器疾患のバリアを取り除いた診療クラスターの構築

診断から治療までの期間の短縮を図り、スムーズながん治療を実施します。



### がんセンター(住友 誠センター長)

診療クラスター部門 (須田 康一)  
治験・臨床研究部門 (近藤 征史)  
キャンサーボード部門 (河田 健司)  
がんゲノム診療・エキスパートパネル部門  
がんバイオバンク部門 (塚本 徹哉)  
TR研究推進部門 (住友 誠)  
先端医療部門 (廣岡 芳樹)



連携・協力

中央放射線部門  
内視鏡センター  
中央手術部

## ばんたね病院長就任 堀口明彦氏(医1984年卒)

2020年2月1日より藤田医科大学ばんたね病院病院長を拝命いたしました堀口明彦です。本学出身者初の病院長就任として、大変名誉なことである一方、その責務の重さには身の引き締まる思いです。

ばんたね病院は、財団法人坂文種報徳會が医療救済・社会福祉事業を目的に1930年に「坂種病院」として開院し、1971年に運営が藤田学園に移行した大変伝統のある病院です。大学病院・教育病院として、地域に密着した安全で高度な医療を提供できる都市型地域医療支援病院です。高度な診断技能、技術を必要とする疾患に対応できるスタッフの敏速な院内連携による切れ目のない医療体制を継続し、24時間365日患者さんを受け入れる体制を築いています。先進的な医療提供のひとつとして、2017年に総合アレルギーセンターを設置いたしました。アレルギー学の高度な専門知識、技術経験を持った総合アレルギー科、呼吸器・アレルギー内科、小児科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科の医師による領域横断的な連携診療体制をとることで、全国からたくさんのアレルギーに悩む患者さんが来院しています。

今後も、地域医療連携ネットワークの急性期病院として地域完結型医療を推進し、さらに地域の患者さんにとって、安全、安心、質の高い医療を提供できる『日本一の総合診療を基盤とする地域医療支援病院』を築いていく所存です。ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



ばんたね病院長 堀口明彦教授

## 重要科学技術史資料(未来技術遺産)に登録

本学衛生学部診療放射線学科(現:医療科学部放射線学科)が1988年に手作りした実験用天板が、国立科学博物館主催の重要科学技術史資料(愛称:未来技術遺産)に登録されました。

CTはそれまで1枚1枚の断層画像を撮影しており、スキャンには時間がかかっていました。そこで、医療科学部放射線学科辻岡勝美特任准教授らが、当時新しく開発された高速連続回転型CTスキャナ(東芝TCT-900S)に実験用の天板を手作りし、ヘリカルスキャンの撮影に成功。世界初のヘリカルスキャン方式CTの実現への道を開きました。ヘリカルスキャンは従来の二次元的診断から、三次元的診断を開拓したことでCT検査を大きく発展させました。現在では、世界中で販売されているCTのすべてにヘリカルスキャン方式が採用され、さらに発展したマルチスライスCTが開発されています。ヘリカルスキャン試行実験器具はX線CT開発における試行錯誤を物語るもので、科学技術の継承を図るうえで重要な教育的価値を有するものとして、2018年度に未来技術遺産の登録に至りました。



手づくりの実験用天板と辻岡勝美特任准教授

# 岡崎医療センター

## クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」 乗客乗員受け入れ 緊迫の23日間

政府の要請を受け、岡崎医療センターは横浜港で検疫中のクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」より、無症状病原体保有者およびその同行者(濃厚接触者)128人を受け入れました。2月19日から26日の間に受け入れを行い、肺炎疑い者の他医療機関への搬送などを経て、最大時106名が滞在した後、3月9日に全員退所しました。

2月16日	厚生労働省から星長理事長へクルーズ船乗客乗員の受入要請入電
2月17日	受け入れ受諾を決定、対策本部設置、岡崎医療センターでの受け入れ準備開始
2月18日	地域住民向け説明会
2月19日	02:19 第1陣32名到着、22:30 第2陣25名到着
2月20日	22:30 第3陣39名到着
2月22日	ロシア大使館からの要請により2名退所
2月24日	1名陰性退所
2月25日	19:18 第4陣20名到着、1名陰性退所
2月26日	19:55 第5陣12名到着、受入終了 総数128名、2名陰性退所
2月27日	3名陰性退所
2月28日	3名陰性退所
2月29日	1名陰性退所
3月1日	1名陰性退所
3月2日	13名陰性退所
3月3日	6名陰性退所
3月4日	5名陰性退所
3月5日	31名陰性退所、オーストラリア大使館からの要請により1名退所
3月6日	3名陰性退所
3月8日	8名陰性退所、5名藤田医科大学病院へ移送
3月9日	25名陰性退所、全員退所
4月4日	岡崎医療センター開院式(テープカット)



# 七栗記念病院

## 訪問事業部(訪問看護事業所・訪問介護事業所・ 居宅介護支援事業所)が開所しました

在宅医療・介護を支援する事業所、「訪問看護ななくり」「訪問介護ななくり」「居宅介護支援ななくり」が三重県津市大門(大樹生命津ビル2階)に4月1日開所しました。3月31日に行われた開所式典では、園田茂七栗記念病院長が「当院がこれまで培ってきた専門性の高いリハビリテーションや緩和ケア、栄養サポートを地域の方々に届けたい」とあいさつし、テープカットで開所を祝いました。

また、津市から運営を受託した「津中央地域包括支援センター」を同フロアに同時開設。訪問事業所と支援センターを1カ所に集約することで、高齢者が住み慣れた家で最期まで暮らせる切れ目のない介護サービスの実現をめざします。

### 訪問事業部

津市中心地に設置した訪問事業部を拠点とし、七栗記念病院を副拠点と位置付けて津市全体のみならず松阪市のお部(旧嬉野町域)まで在宅ケアをカバーします。

看護師や理学療法士、介護士ら20名のスタッフが利用者の自宅を定期的に訪問し、栄養指導や生活支援などを行います。地域の皆さんのが病気や障がいがあっても住み慣れた家で暮らし続けられるよう、地域の医療機関とも連携し、地域全体で支えあえる街づくりに貢献していきます。

七栗記念病院

訪問事業部

訪問看護「ななくり」

訪問介護「ななくり」

居宅介護支援「ななくり」

### 津中央地域包括支援センター

七栗記念病院は、4月1日付で津市中心部の大門付近を担当する津中央地域包括支援センターの運営を津市より受託しました。

高齢者を支える介護・医療・保健・福祉の相談窓口として、東橋内地域(敬和地区)および西橋内地域(養正・新町地区)を対象に活動しています。リハビリテーション、緩和ケア、栄養に特化した入院医療に加えて、通所・訪問リハビリテーション、居宅介護支援事業、在宅介護支援センターの取り組みを実施してきた七栗記念病院のノウハウ・人材を生かした地域包括ケアシステムを構築していきます。



訪問事業部テープカット



津中央地域包括支援センター

# 新型コロナウイルスに負けるな 心温まる支援の輪

新型コロナウイルス感染者の受け入れと治療にあたる本学の医療従事者への感謝・激励として、多くの方々から温かい支援をいただきました。地域医療の砦として、高まる期待や激励に応え、感染症の収束に向けて職員一丸となって取り組みましょう。

## 第1教育病院 「エール弁当」

愛知、岐阜県で居酒屋などを経営する株式会社R-foodから、2000食(各日500食、4日間)の「エール弁当」の差し入れが届き、5月7日に本大学病院で寄贈式が行われました。



### 「医療従事者へメッセージ」

絵葉書などを作成している方から、医療従事者への応援メッセージが込められた作品が届きました。



### 「日本各地より子育て中の職員を応援」

子どもの保育園で風評被害に遭っているという報道の後、日本各地より応援の声が寄せられています。豊明市の働く女性を支援する団体より手作りの子ども用マスク、東京都在住の方よりキラキラ飾りをいただきました。



### 「伊勢からの生花やフラワーオブジェの贈り物」

伊勢市の方から、「伊勢の花を見ていただき、頑張っている職員のみなさんに少しでも和んでもらいたい」と生花とフラワーオブジェを寄贈していただきました。ハート型のフラワーオブジェには「コロナに負けるな! 医療従事者の皆様に感謝」と書かれたメッセージが添えてありました。本学の臨時児童預かり所「ふじっこひみつきち」では子どもたちが色とりどりのカーネーションやガーベラでフラワーアレンジメントを作り、日頃の感謝の気持ちを込めて保護者にプレゼントしました。



## 第2教育病院

名古屋で活動する料理人やレストラン、企業などの協力により、有名フランス料理店「シェ松尾」監修の特製パエリア弁当50食が届きました。弁当一つひとつに新型コロナウイルス対応に従事する医療者への労いの言葉として、手書きのメッセージが添えられていました。



## 第3教育病院

三重の地元企業から七栗記念病院で働く医療従事者へ支援をいただきました。株式会社赤福から、5月12日に朔日餅250個が届けられました。ほかにも、株式会社おやつタウンから商品848個が届けられました。



## 第4教育病院

岡崎医療センターにも地元の企業・医院や地域の方からたくさんの支援物資が届いています。岡崎ライオンズクラブからは3万枚のマスクをいただきました。



## THEアジア大学ランキング 国内10位、私立2位

2020年度のアジア大学ランキングが発表されました。100位以内に入ったのは国内で12大学のみです。私立大学ではワールドランキング同様、産業医科大学に次いで2位となっています。

ランキングは、教育力、研究力、研究の影響力(論文の引用数)、国際性、産業界からの収入などの5分野13項目をスコア化し、総合力を測ったもので、本学は「研究の影響力(論文の引用数)」において高い評価を受けました。

### THE Asia Universities Summit 2021 2021年6月に再延期

本学をホスト校に今年度の開催を予定していた「THE Asia Universities Summit」は、COVIT-19をめぐる世界の現状をふまえ、主催のTimes Higher Education (THE)社と協議した結果、参加者の安心・安全を第一に考えて再延期し、2021年6月1日～3日の開催を決定しました。期間中は、ノーベル賞受賞者や国際的リーダー、各国の大学学長らを本学キャンパスに招き、講演やシンポジウムなどが行われます。

日本順位	アジア順位	大学名
1	7	東京大学
2	12	京都大学
3	30	東北大学
4	41	名古屋大学
5	42	東京工業大学
6	55	大阪大学
7	57	産業医科大学
8	62	東京医科歯科大学
9	71	九州大学
10	82	藤田医科大学
11	93	帝京大学
12	93	筑波大学

THEアジア大学ランキング抜粋

## 全国医学部長病院長会議会長に湯澤病院長が就任

湯澤由紀夫病院長が5月29日付けで「一般社団法人全国医学部長病院長会議(AJMC)」の会長に就任しました。AJMC会長職への就任は本学初であり、大変名誉な出来事です。

多忙を極める湯澤病院長にお話をうかがいました。

－ご就任おめでとうございます

COVIT-19の蔓延という大変な時期に重責を担うことになりましたが、藤田医科大学の名前と私たちの取り組みを全国に知っていただく良い機会でもあり、誇りをもって使命を果たしていきたいと思っています。

－喫緊の課題は？

COVIT-19の影響でほとんどの医科大学がWebなどを用いた遠隔授業となりました。実習をどう行い、スクーデントドクターをどう養成していくのか、バーチャルによる実習の仕組みを作っていく必要があります。また今回、大学病院は重症の感染者を多数受け入れました。通常の高度医療に感染者の治療が加わり、現場はぎりぎりのところで持ちこたえている状態でした。第2波に備え、医療崩壊を起こさないためにも現場の生の声を集約し、政策に提言していきたいと考えています。

－最後に抱負を

COVIT-19の出現を良い機会と前向きに捉え、医学教育の新しい形作りや働き方改革を含めた「アフターコロナ時代」の三位一体改革を進めていく必要があります。医療提供体制も大きな変革が必要となり、AJMCに求められる役割もますます増してきています。会員の皆さんにご協力いただきながら全力で頑張りたいと思います。



AJMC会長に就任した湯澤第1教育病院長

2020年  
7月

## 第4教育病院 アップライトピアノが寄贈されました

藤田学園同窓会と藤医会、藤衛会より岡崎医療センターへ自動演奏付アップライトピアノが寄贈されました。6月20日、岡崎医療センター2階職員食堂前スペースに設置されました。

藤田学園同窓会の松山裕宇会長は「クルーズ船乗客乗員受け入れの時から第一線で対応にあたっているスタッフの皆さんのがピアノの音色を聞いて心が和む一助になれば」と話し、続けて守瀬善一病院長が「学園同窓会と藤医会、藤衛会のお力をいただき、“地域の急性期医療担う信頼される大学病院”として立ち上げを進めています。ピアノは患者さんや職員の憩いになるよう活用していきます」とあいさつ。松山会長へ感謝状を手渡しました。

岡崎はジャズイベントが多くジャズの街岡崎"と呼ばれていることから現在はジャズが1・2階フロアに響き渡り、患者さん・職員の憩いの空間を提供しています。

アップライトピアノは月～土曜日の8:15～17:00まで自動演奏され、月替わりでさまざまなジャンルを選曲していく予定です。



岡崎医療センター 2階ラウンジ



ピアノ寄贈札



左より濱子藤衛会会長、松山学園同窓会会長、守瀬病院長、黒田藤医会会長



2階吹き抜けのエントランスホール  
「光庭」

# オンライン・オープンキャンパス2020報告

本年度のオープンキャンパスは、新型コロナウイルス感染症の影響により、愛知県独自の緊急事態宣言が発出されたことを受け、従来の来場型形式を取りやめ、すべてのプログラムをオンライン形式で実施しました。当日は、ネット環境も大きなトラブルなく、スムーズに実施することができました。

全学部とも、9月以降もWeb個別進学相談を実施します。日程は、大学ホームページの「受験生サイト」に掲載します。

## 医学部

医学部のオンライン・オープンキャンパスでは、「医学部長による学部説明、在学生トーク(入試対策体験談、臨床実習体験・学生生活の紹介)、2021年度入試説明」をYouTubeによるLIVE配信で実施しました。この他にも、「入試面接<MMI>紹介、ダビンチトレーニング施設の紹介」等の動画も予約者限定サイトにて配信しました。

Zoomを利用したWeb個別相談では、入試の変更点や、選抜方法、前年度入試結果の問い合わせが多く、教職員・在学生と分けた相談ベース(計54枠)は、当日までにすべての時間枠が予約で埋まりました。1年生は自身の受験時の体験を中心に、5年生は学生生活、ポリクリや留学制度などを説明し、参加者は相談の制限時間まで先輩や教職員の話に熱心に聴き入っていました。



進学相談に応じる学生たち



1年生による入試体験談トークLIVE

## 医療科学部／保健衛生学部

医療科学部／保健衛生学部のオンライン・オープンキャンパスでは、午前・午後と「学科別ガイダンス(学科説明・在学生トーク・講義紹介)」をZoomでLIVE配信しました。チャットによる質問もリアルタイムで受け付け、「国家試験対策はどうしているのか」「アルバイトはできるのか」など受験生からたくさんの質問が寄せられ、視聴後のアンケートでも「満足」が9割と大変好評でした。

特設サイトでは、予約者限定で公開した2021年度の入試情報、ミニ講義、模擬講義、実習紹介、大学施設紹介などを動画にて配信しました。また、Web個別進学相談では、入試科目・奨学金・就職などについて。各学科の教員が丁寧に説明しました。



視聴者の評価も高い在学生トーク



講義や実習の動画に説明を加えて視聴者と共有

## 藤田の心を引き継ぐ —病院1, 2号棟とアセンブリタワーの解体—

2019年4月、第1教育病院1号棟、2号棟および病院旧玄関はその機能を新病棟に移し、本来の役割を終えて解体が開始されました。また2020年6月には、法的な基準が満たされず、やむを得ずアセンブリタワーも解体されました。節目に伴って収蔵された大切な品々は、獨創一理祈念館で藤田学園の進化を見守つていきます。



役割を終え静かに解体を待つ1・2号棟



総長の銅像と解体現場



解体現場より外来棟と病院A棟が



地上に降りたアセンブリタワー



更地になった病院1・2号棟跡地

## 恩師からのお便り

(順不同)



医療法人山下病院  
消化器内科  
医療参与  
**乾 和郎**

### 藤田学園を退職して

令和2年3月にばんたね病院消化器内科を定年退職しました。平成元年に第二教育病院(当時は坂文種報徳會病院)に講師として赴任してから31年、教授に就任から16年と長い間にわたって、藤田学園にお世話になりました。この間、ボリクリでばんたね病院に回ってきた学生、指導学生、研修医の皆さんと会食したことが楽しい思い出になっています。また、3つの全国学会を主催することができ、教室員をはじめOBの方々の多大なるご助力をいただきましたこと、この場をお借りして感謝申し上げます。

今は、卒業生が理事長を務めている一宮の山下病院でお世話になっています。元々、困っている患者さんを助けることが使命だと思って臨床をやってきましたので、これからは地域医療に貢献できるように努めたいと思っています。ただ、後3年は学会理事としての任期が残っていますので、日本の医学の進歩にも微力ながら貢献したいと思っています。



四日市看護医療大学  
看護医療学部・  
臨床検査学科教授  
**伊藤 康宏**  
(衛生学部8回生)

藤田学園から新たな  
出会いを求めて



藤田医科大学名誉教授  
名古屋女子大学  
健康科学部  
健康栄養学科教授  
**宮地 栄一**

藤田学園を退職して

私は30年間藤田学園に在職し、25年間を医学部・生理学教授として勤め、令和2年3月31日に退職しました。その間多くの学園の教職員や同窓生にお世話になりました。退職後は名誉教授の称号をいただき、藤田学園に大変感謝しております。退職直後は常勤職に着くことなく、コロナ禍の最中ですが時間にゆとりができたのでそれまでできなかったことをして過ごしていました。そして、何か新しいことを始めようと考えていたところ、藤田学園関係の先生がたのご紹介で9月から名古屋女子大学に勤務することになりました。医療系の学部学科もありますが、私は管理栄養士の育成を目的とする家政学部 食物栄養学科(2019年に改組)で運動生理学を担当しています。また、非常勤職では医学部卒業生にお世話になっており、退職後も藤田学園同窓生や関係者の活躍ぶりを実感しています。

今後は学園での長年の貴重な経験も生かしながら新しいことにもチャレンジしていこうと思っています。今後も同窓会の皆様のご発展をお祈り申し上げます。

## 2019年度 国家試験結果

学科	資格名	区分	受験者	合格者	合格率%	全国平均
医学科	医師(第114回)	新卒	112名	106名	94.6%	94.9%
		既卒	8名	7名	87.5%	69.2%
		計	120名	113名	94.2%	92.1%
臨床検査学科	臨床検査技師	(第66回)	113名	111名	98.2%	71.5%
看護学科	看護師	(第109回)	130名	130名	100.0%	89.2%
	保健師	(第106回)	18名	18名	100.0%	91.5%
放射線学科	診療放射線技師	(第72回)	63名	62名	98.4%	82.3%
リハビリテーション学科	理学療法士	(第55回)	60名	60名	100.0%	86.4%
	作業療法士	(第55回)	38名	38名	100.0%	87.3%
臨床工学科	臨床工学技士	(第33回)	53名	53名	100.0%	82.1%
医療経営情報学科	診療情報管理士認定試験	(第13回)	43名	43名	100.0%	61.9%
看護専門学校	看護師	(第109回)	41名	41名	100.0%	89.2%

(注)医療科学部・保健衛生学部と看護専門学校の受験者数は、既卒者を含みません。

(注2)診療情報管理士認定試験のデータは、3年次の実績です。

## 卒業生の活躍

(順不同)



四日市看護医療大学  
看護医療学部・臨床検査学科  
学科長

高崎 昭彦  
(衛生学部 18回生)

四日市看護医療大学・看護医療学部  
臨床検査学科スタート  
～Medical science → Medical Care～

終戦翌年の1946年、三重県内初の私立女子専門学校としてスタートした暁学園は来年75周年を迎えます。学園綱領「人間たれ」を掲げ、幼稚園から小中高等学校、四日市大学、四日市看護医療大学がそろう総合学園に発展しました。その中で四日市看護医療大学は看護学科の単科大学として2007年に四日市市、市立四日市病院との公私協力方式の基開学し今年で13年目を迎える新しい大学です。「看護医療(Nursing and Medical Care)」の名の通り、発



展的改組が計画されており2020年4月、中部地区初の文部科学省指定校として「臨床検査学科」がスタートしました。これも中部地区初となる細胞検査士養成コースも併設し、看護学科との合同カリキュラムなど「チーム医療・地域医療」、合計13単位の「臨地実習」など他校にない特色を数多く掲げ、4月には1期生を迎えることができました。細胞検査士とのダブルライセンスを目指す志の高い学生が集まり、数多い若手教員スタッフとともに「コロナ渦の逆境

をプラスととらえよう」を合言葉に日々勉学研究に励んでおります。教員スタッフには「藤田学園同窓生」が多く、他校となりますが「藤田イズム」に発展を加え継承していきたいと考えております。学科設立にあたり数多くの同窓生の皆様にご指導とお力添えをいただきました。この場をお借りして感謝申し上げます。今後とも同窓生皆様のご指導ご鞭撻をお願いしたく存じます。



臨床検査学科B館



B4(生体検査)実習室



細胞検査士コース講義室

## 同窓会からのお知らせと総会報告

### 専学部会

本年度、一月役員会会議において閉校以来の専門学院同窓会会費の取り扱いについて決議されました。藤田学園同窓会に預託、今後は全学合同の催し及び卒業生会員の活動資金として運営されます。

専門学院同窓会の維持発展のために役立つことと祈念いたします。

日々、同窓会を予定されている会員の皆様は是非ご連絡下さい。合わせて個々の会員の皆様の近況をお知らせください。皆様のご活躍が機関誌に掲載されることを願います。

(専学同窓会会长 小久保 正博)

### 医療科学部部会(藤衛会)

一般社団法人 藤衛会は、2020年4月現在、医療科学部(臨床検査学科5,622人、放射線学科1,489人、臨床工学科413人、医療経営情報学科329人)および、保健衛生学部(看護学科2,779人、リハビリテーション学科理学療法専攻696人、同学科作業療法専攻540人)の卒業生と、大学院保健学研究科修士課程556名、さらに2015年に開学した博士後期課程11名の修了者を合わせて12,435名から構成されています。

さて、2020年10月現在でも2019年末からの新型コロナウイルス・COVID-19が国内外で猛威を振るっています。感染症においては、感染防御の意識と実践能力が求められています。患者に寄り添う医療者としての誇りと責任を感じる反面、社会からは時として差別的に見られることへのジレンマもあったかと思います。しかし、今、卒業生の皆様は最も社会に必要とされています。卒業生の皆様方のご活躍を願っております。

藤衛会では、卒業式の卒業記念品(印鑑)、各学科卒業生の周年記念同窓会支援、支部設立の支援、本学関連の学会支援要請に対する補助金援助、同窓生による学術講演会の支援、在学生及び留学生の国際交流支援等を行っております。本年度は、大学7号館(臨床工学科棟)1階にAED 1台を現物寄附いたしました。また、中日新聞社会事業団に対して、令和2年7月豪雨災害に対する支援金を贈り、2021年に藤田医科大学で開催される「THE Asia Universities Summit 2020」に対する支援として、学校法人藤田学園に寄附を行いました。

なお、藤衛会の詳細な活動につきましてはホームページでご確認ください(<http://www.fujita-hu.ac.jp/~dousou68/index.html>)。

今後も、「一般社団法人 藤衛会」の発展に尽力いたす所存です。同窓生の皆様方のご協力、ご支援を賜りますように宜しくお願い申し上げます。

(2019年度藤衛会会长 2020年度藤衛会顧問 濱子二治)



平素より同窓会活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。この度、一般社団法人藤衛会の会長を拝命致しました衛生学部衛生技術学科20回生の西井一宏と申します。

歴代の会長並びに法人化に尽力された濱子二治前会長の後任として会長職を引き継ぐことに大変重責を感じておりますが、副会長をはじめとする役員の方々、先輩諸氏にご指導を仰ぎつつ職務を全うする所存です。

衛生学部同窓会としてスタートした当会は2022年に50周年を迎え、会員数も1万人を超える大きな組織へと成長して参りました。この伝統を次世代へ繋いでいくことも私たち役員の使命であると思います。

近年、人間関係の希薄化が進んでいると言われておりますが、縁あって会員となられた皆さまの交流の輪を広げる場として同窓会は機能すべきであると思っております。これまで実施された活動に加え、将来の会員となる在学生の皆さんにも「同窓生で良かった」とと思って頂けるような活動を行なべく、尽力する所存です。

会員各位の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げますとともに、皆さまのお力添えを賜りますよう心よりお願い申し上げ、就任の挨拶と代えさせて頂きます。

(藤衛会会长 西井一宏 衛生学部衛生技術学科第20回生(1991年卒業))

### 医学部部会(藤医会)

平成31年4月から藤医会第6代会長の3期目を拝命して、藤田医科大学岡崎医療センターの病院特命教授を続けながら、同窓会活動に関わっております。藤田学園に入学して以来この学園のありのままを49年間にわたり直視してきましたので、様々な経緯は熟知しております。この経験を生かして、医学部の50周年を藤田啓介先生が建学をされたときに、理想とされていた医学部に成熟させるべく全力で活動をさせていただいております。副会長を根本浩路先生(6回生)大槻真嗣先生(11回生)、篠崎仁史先生(15回生)に留任していただきバランスの良い藤医会活動ができます。私も同窓会活動の円滑な実施に大局的に取り組めるようになりました。藤田学園同窓会の皆様におかれましては、藤医会の活動にご理解を賜れますようぐれぐれも宜しくお願い申し上げます。藤医会の活動としましては、年2回の会報の発行、2年に1回の会員名簿の発行、年1回の総会、卒業生の教授就任記念講演会・祝賀会の開催、および各支部の支部会訪問を行っております。詳細はホームページをご覧いただけましたら幸甚に存じ上げます。

(藤医会会长 黒田 誠)

### 看護専門学校同窓会活動報告とお知らせ

看護専門学校部会では、藤田学園同窓会を全面的にバックアップしております。主な活動内容は次の通りです。新卒業生、既卒者及び学生名簿の管理を藤田学園同窓会名簿委員会と協力して行っております。(住所変更、勤務先変更の際は是非お知らせください。)また、藤田学園同窓会奨学基金への資金援助や新卒業生への卒業記念品贈呈(ナースウォッチ)、教育教材(新型コロナウイルス対策関連用品等)寄贈などです。また、2016年から看護専門学校独自のホームページを開催されており、同窓会から協賛をしていましたが今年は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため開催が見送られました。

藤田学園の発祥である看護専門学校は、50余年に渡って、藤田学園関連病院の看護職員を輩出していましたが、その役割は、2022年3月をもって終了いたします。看護専門学校の閉校に関連する事業につきましては、同窓会としてできるかぎりの支援をさせていただきたいと考えております。

2020年9月5日(土)に看護専門学校同窓会総会をWebにて開催いたしました。次年度の総会は、2021年4月24日(土)13時から、開催予定です。

2020年3月に第18回生41名が卒業(看護専門学校累積数3,711名)し、ほとんどが藤田学園関連の病院で勤務しています。

同窓生からのお問い合わせ先等につきましては、今後のあけぼの杉等でお知らせしていく予定です。

卒業生の動向についても同窓生にお知らせしたいと思います。同窓会等を行なわれた際には、是非お知らせください。あけぼの杉に掲載したいと思います。

連絡先：藤田医科大学看護専門学校同窓会事務局  
(電話番号 0562-93-2593、FAX 0562-93-9394)

藤田医科大学短期大学同窓会では、例年10月初旬に名古屋市内において、総会及び懇親会を開催してきました。しかし、2019年11月末に発生した新型コロナウィルス感染症(COVID-19)が、全世界そして日本全国に急速な流行拡大が広まり、社会・経済的な活動、そして日常生活に大きな影響を与えています。従って、本年度の総会及び懇親会は、感染拡大防止の観点から中止といたしました。つきましては、2019年度活動・会計・監査報告と、2020年度の活動案・予算案・役員案、及びその他の事項については、役員への持ち回り審議として実施させていただき、10月10日に承認して頂きました。

その他の活動としては、毎年変わらない短期大学ホームページの充実を図るため、今年度に開催された三つの同窓会(2・3・11回生)の様子を、新たにホームページの「お知らせ」

に掲載させていただきましたので、是非、ご一読して下さい。

毎年、細々ではありますが年一回役員等が集まり、親睦と情報交換の場となる貴重なイベントを開催できることは、非常に残念でなりません。また、今年に同窓会の開催を計画されていた卒業生の皆様には、旧友との再会を楽しみにしておられた事だと思いますが、開催できなくなり無念のこととお察しいたします。

この様な状況ではありますが、同窓会の皆様には、ご健勝でご活躍されることを心からお祈り申し上げると共に、今後とも短期大学同窓会にご支援、ご助言を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、新型コロナウィルス感染症が早期に終息し、同窓会の皆様が以前と同じ健やかな日常生活を取り戻されることを、心からお祈り申し上げます。

(短期大学同窓会会長 川井 薫)

## 第41回 一般社団法人藤田学園同窓会 総会議事録

日 時：2020年11月7日(土) 14:00～15:15

場 所：藤田医科大学3号館1F101講義室

代議員：44名(内委任状14名)／56名

理 事：13名／21名

監 事：2名／3名

事務局：1名

開会に先立ち、名誉会長沖田洋治様、代議員岡村和彦様始め、志半ばにして逝去された同窓生と藤田学園教職員に対し黙祷が捧げられた。

I. 開会の辞

II. 会長挨拶

III. 議長選出

定款19条に則り、副会長が議長に選任された。

IV. 代議員紹介

各部会から選出された代議員が紹介された。

V. 議事

1. 2019年度事業報告

2019年度において以下の事業が行われたことが報告された。

1) 会員相互の親睦や扶助に関する事業

①2019年ホームページの開催  
②中日新聞社会事業団を通して激甚災害支援事業

2) 部会・支部活動支援等に関する事業

カズモス部会総会及び懇親会の支援

3) 会員の教育と資質向上に関する事業

会員が主催する学術大会の支援(6大会)

4) 学生会員育成に関する事業

本年度は、奨学金基金への積み立てなし

5) 会員の就職活動支援に関する事業

藤田学園キャリア支援課と連携し、卒業生就職先の内部資料の作成

6) 機関紙、会員名簿及び動向調査に関する事業

①「第39号あけぼの杉」の発刊、「第40号あけぼの杉」の編集

②会員数：32,013名(大学院を含む)、住所不明者：5,759名、物故者：366名

7) 学校法人藤田学園の後援に関する事

業

入学・卒業記念品の贈呈、THE Asia Universities Summit 2020への寄附、学生環境改善プロジェクト支援(岡崎医療センターへ自動演奏ピアノ寄贈)、教育病院へマスク10,000枚を寄付

8) その他の事業

理事重任・新任登記

9) 奨学金基金事業

①特別奨学金制度「新型コロナウィルス感染症拡大の影響による家計急変に限る同窓会奨学金」5名枠を創設(本年限り)

②5名の奨学生を採用、奨学金貸与(内3名がコロナ枠)

10) 獨創一理基金事業

①宝冠大日如来・華鬘再安納のための獨創一理祈念館展示改修工事

②年表ディスプレイの購入・設置、陶壁モニュメントの展示作製

2. 2019年度決算報告

2019年度収支計算書について決算報告が行われた。

3. 2019年度監査報告

2019年度収支計算書および財産目録について監査報告が行われた。

採決の結果、2019年度事業および決算が満場一致で承認された。(別掲)

4. 旅費規程、慶弔規程、事務局業務規程の制定について

三規程案について採決の結果、満場一致で承認された。

5. 2020年度事業計画案

以下の事業計画が提案された。

1) 会員相互の親睦や扶助に関する事業

①2020年オンラインホームカミング企画

②中日新聞社会事業団を通して激甚災害支援事

業

2) 部会・支部活動支援等に関する事業  
支部設立支援、支部総会・親睦会支援、同窓会部会の支援、県人会開催の支援

3) 会員の教育と資質向上に関する事業  
学会、学術集会、研修会、研究会の支援、会員の研究補助

4) 学生会員育成に関する事業  
藤田学園同窓会奨学金基金募金の実施

5) 会員の就職活動支援に関する事業  
キャリア支援課と協力し、会員の就職活動支援

6) 機関誌、会員名簿及び動向調査に関する事業  
機関誌「あけぼの杉」発行と名簿管理メンテナンス

7) 学校法人藤田学園の後援に関する事業  
入学・卒業記念品の贈呈、学園祭の協賛、学生環境改善プロジェクト支援等

8) その他の事業  
会議の開催、ホームページ管理、同窓会事務の運営・管理

9) 奨学金基金事業  
基金の充実、奨学金貸与・返還

10) 獨創一理基金事業  
獨創一理祈念館、祈念室の運営・維持、種々モニュメントなどの保存・展示

6. 2020年度予算案

2020年度予算が提案された。  
採決の結果、2020年度事業計画及び予算が満場一致で承認された。(別掲)

7. 代議員及び理事の交代について  
医療科学部・保健衛生学部部会(藤衛会)の役員交代に伴い代議員2名と理事2名の交代が提出され、満場一致で承認された。(別掲)

8. 質疑応答

特になし。

VI. 議長解任

VII. 閉会の辞

# 2021年度 入学試験スケジュール

## 藤田医科大学 大学院

研究科名称	課程	試験区分	募集人員	出願期間(締切日必着)	試験日	合格発表日	試験会場
医学研究科	博士課程	第一次募集	52名	7月 8日(水)から 7月17日(金)まで	8月 3日(月)	8月28日(金)	本学
		第二次募集		1月13日(水)から 1月22日(金)まで	2月 4日(木)	3月 5日(金)	本学
	修士課程	第一次募集	5名	7月 8日(水)から 7月17日(金)まで	8月 3日(月)	8月28日(金)	本学
		第二次募集		1月13日(水)から 1月22日(金)まで	2月 4日(木)	3月 5日(金)	本学
保健学研究科	博士後期課程	第一次募集	8名	8月17日(月)から 8月31日(月)まで	9月 7日(月)	9月11日(金)	本学
		第二次募集		1月25日(月)から 2月 8日(月)まで	2月15日(月)	2月19日(金)	本学
	修士課程	第一次募集	50名	8月17日(月)から 8月31日(月)まで	9月 7日(月)	9月11日(金)	本学
		第二次募集		1月25日(月)から 2月 8日(月)まで	2月15日(月)	2月19日(金)	本学

## 藤田医科大学 医学部

学科名称(定員)	試験区分		募集人員	Web出願期間【書類提出期限】	試験日	合格発表日	試験会場
医学科(120名)	ふじた未来入試	高3枠と 高卒枠 合わせて 15名	9月15日(火)から 10月30日(金)まで 【11月2日(月)必着】	一次：11月 8日(日)	11月11日(水)	本学	
				二次：11月15日(日)	11月20日(金)	本学	
	一般入試	前期	一般枠：72名 地域枠：5名 【 1月14日(木)必着】	11月30日(月)から 1月13日(水)まで	学科： 1月21日(木) 面接： 1月29日(金) または 1月30日(土)*	1月26日(火) 2月 3日(水)	東京・名古屋・大阪 本学
				【 1月14日(木)必着】	学科： 3月 4日(木) 面接： 3月15日(月)	3月10日(水) 3月16日(火)	東京・名古屋 本学
	共通テスト 利用入試	前期	10名	12月 7日(月)から 1月15日(金)まで 【 1月18日(月)必着】	一次：共通テスト (第1日程・第2日程)	2月12日(金)	
					二次： 2月17日(水)	2月19日(金)	本学
		後期	5名	1月18日(月)から 2月28日(日)まで 【 3月 2日(火)必着】	一次：共通テスト (第1日程・第2日程・特例追試)	3月10日(水)	
					二次： 3月15日(月)	3月16日(火)	本学

\* 大学入学共通テスト本試験第2日程を受験する者が希望した場合に限り、一般入試前期の特例面接試験を2月1日(月)におこないます。

## 藤田医科大学 医療科学部・保健衛生学部

### 募集人員

学 部	学 科	定 員	推薦入試		アセンブリ 入試	一般入試		共通テスト利用入試		共通テスト プラス入試
			一般公募制 【専願】	一般公募制 【併願】		前 期*3	後 期	前 期	後 期	
医療科学部	医療検査学科	140名	30名	10名	3名	60名	10名	15名	5名	7名
	放射線学科	90名	20名	10名	3名	30名	5名	7名	5名	10名
保健衛生学部	看護学科	135名	30名*1	—	3名	74名	10名	10名	3名	5名
	リハビリテーション学科 理学療法専攻	70名	10名*2	—	3名	38名	5名	8名	3名	3名
	リハビリテーション学科 作業療法専攻	45名	6名	—	3名	24名	3名	5名	2名	2名

\*1 一般公募制推薦【専願】、専門高校(看護)推薦若干名、社会人自己推薦若干名、指定校推薦・MOU指定校15名程度を合わせた人数

\*2 一般公募制推薦【専願】、MOU指定校を合わせた人数

\*3 [A日程]・[B日程] ともに合わせた人数

### 入試日程

試験区分	出願期間(締切日必着)	試験日	合格発表日	試験会場
推薦入試・特別入試	11月 2日(月)から 11月16日(月)まで	11月21日(土)	12月 1日(火)	本学
アセンブリ入試 (総合型選抜・二段階選抜方式)	11月17日(火)から 12月 7日(月)まで	第1次試験 12月12日(土) 第2次試験 12月26日(土)	12月17日(木)※4 12月28日(月)	本学
一般入試(前期)	A日程	1月 4日(月)から 1月20日(水)まで	1月27日(水)	2月 4日(木)
	B日程	1月 4日(月)から 1月25日(月)まで	2月 2日(火)	2月10日(水)
共通テストプラス入試	1月 4日(月)から 1月25日(月)まで	一般入試(前期) [A日程] [B日程] 大学入学共通テスト	2月16日(火)	
共通テスト利用入試(前期)	1月 4日(月)から 1月25日(月)まで	大学入学共通テスト 1月16日(土)・17日(日)、 1月30日(土)・31日(日)	2月16日(火)	
共通テスト利用入試(後期)	A日程	2月18日(木)から 3月 9日(火)まで	3月16日(火)	
	B日程	2月18日(木)から 3月17日(水)まで	3月25日(木)	
一般入試(後期)	2月 1日(月)から 2月17日(水)まで	2月24日(水)	3月 3日(水)	本学

※4 第1次試験結果発表日

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98

藤田医科大学大学院 医学研究科 TEL 0562-93-2898

藤田医科大学 医学部 TEL 0562-93-2493

URL <https://www.fujita-hu.ac.jp/>

保健学研究科 TEL 0562-93-2504・9080

医療科学部・保健衛生学部 TEL 0562-93-2504・9080